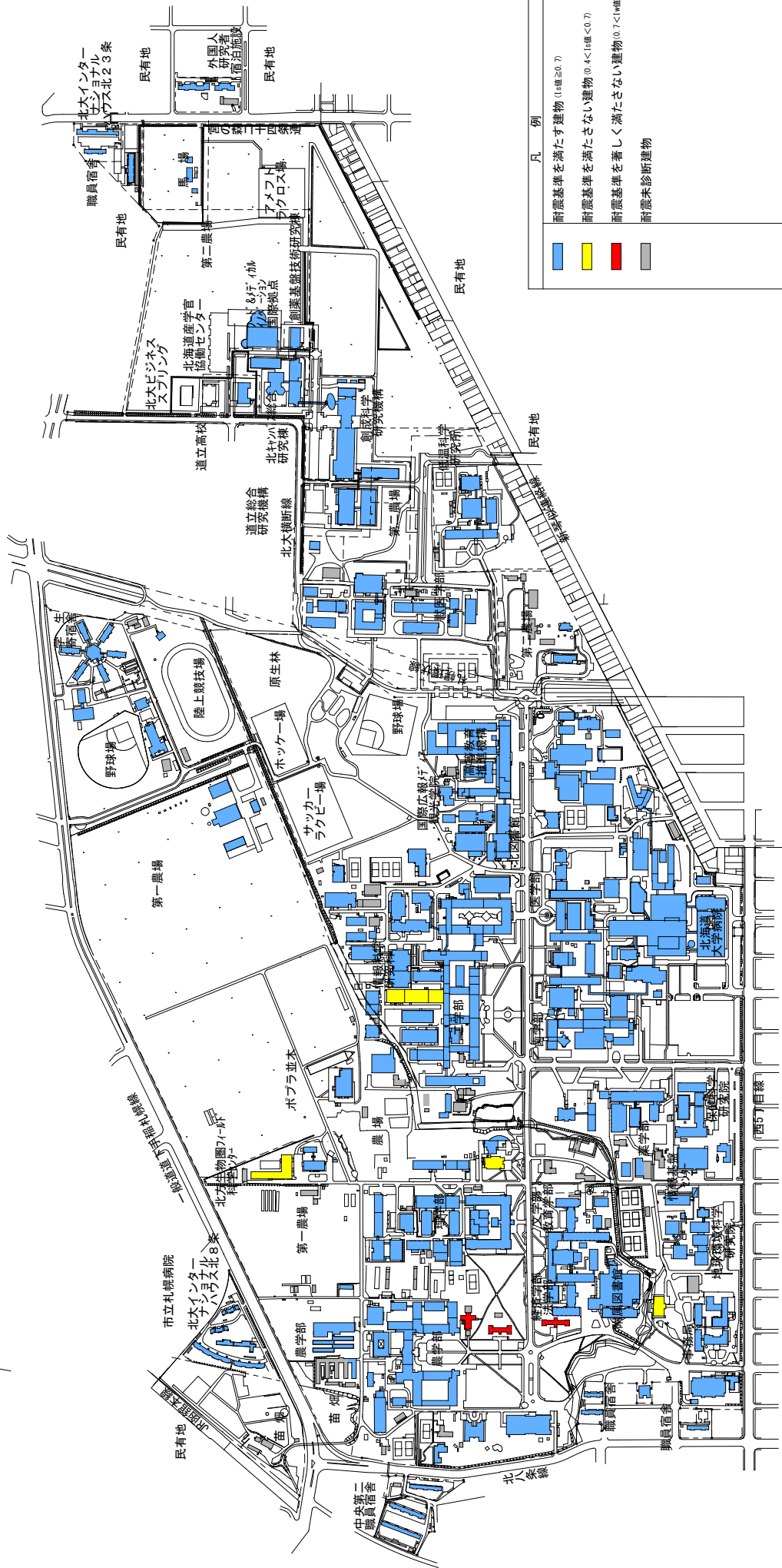


平成30年11月現在



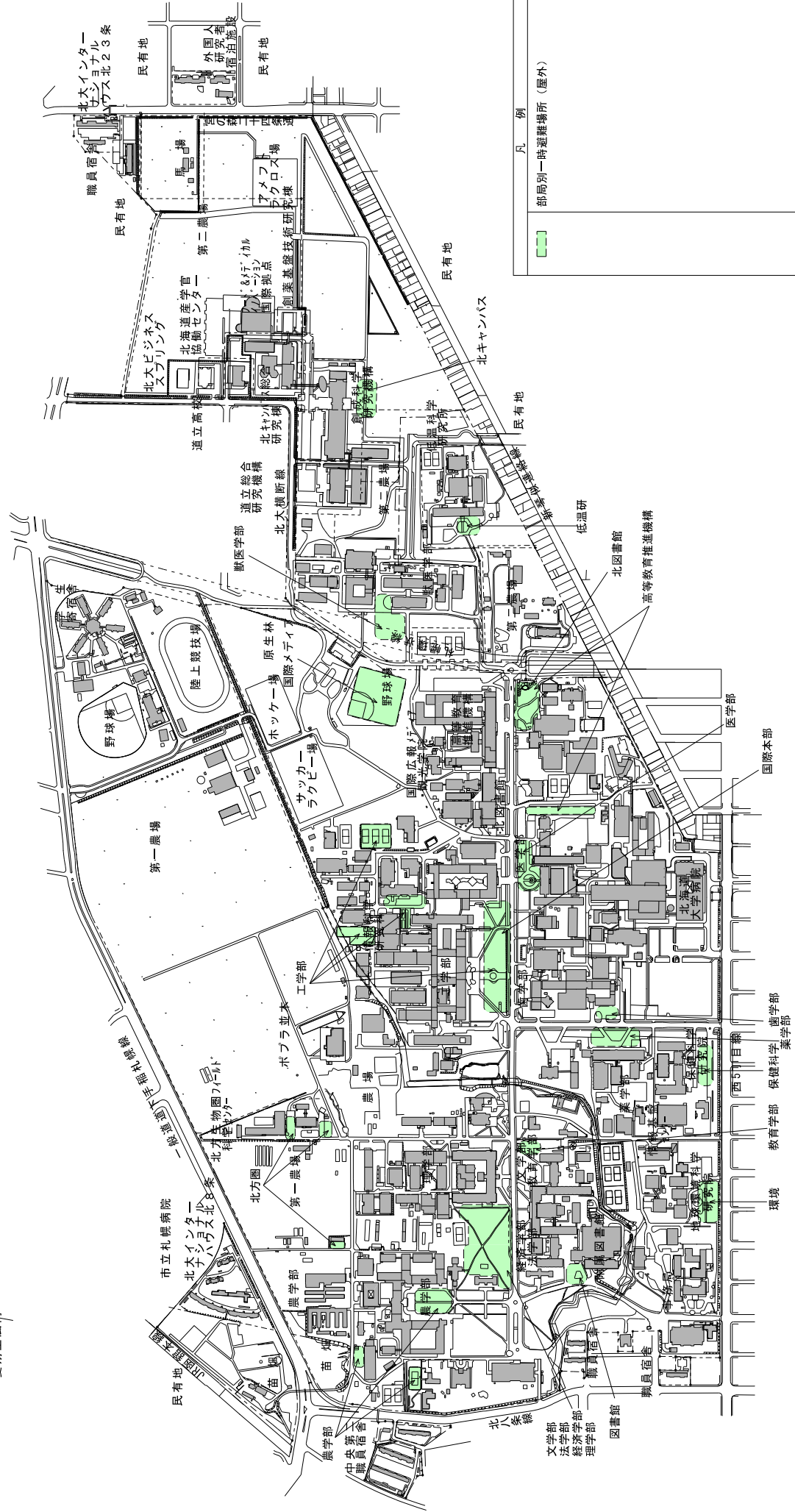
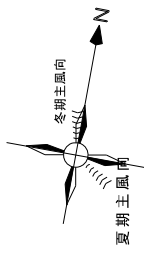
凡 例	
■	耐震基準を満たす建物 (1等震 ≥ 0.7)
■	耐震基準を満たさない建物 (0.4<1等震<0.7)
■	耐震基準を著しく満たさない建物 (0.7<1等震)
■	耐震未診断建物

0m 100m 200m 500m



平成26年4月現在

■ 災害時における部局別の一時緊急避難場所を示す。

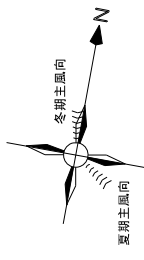


凡 例	
	部局別一時避難場所 (屋外)

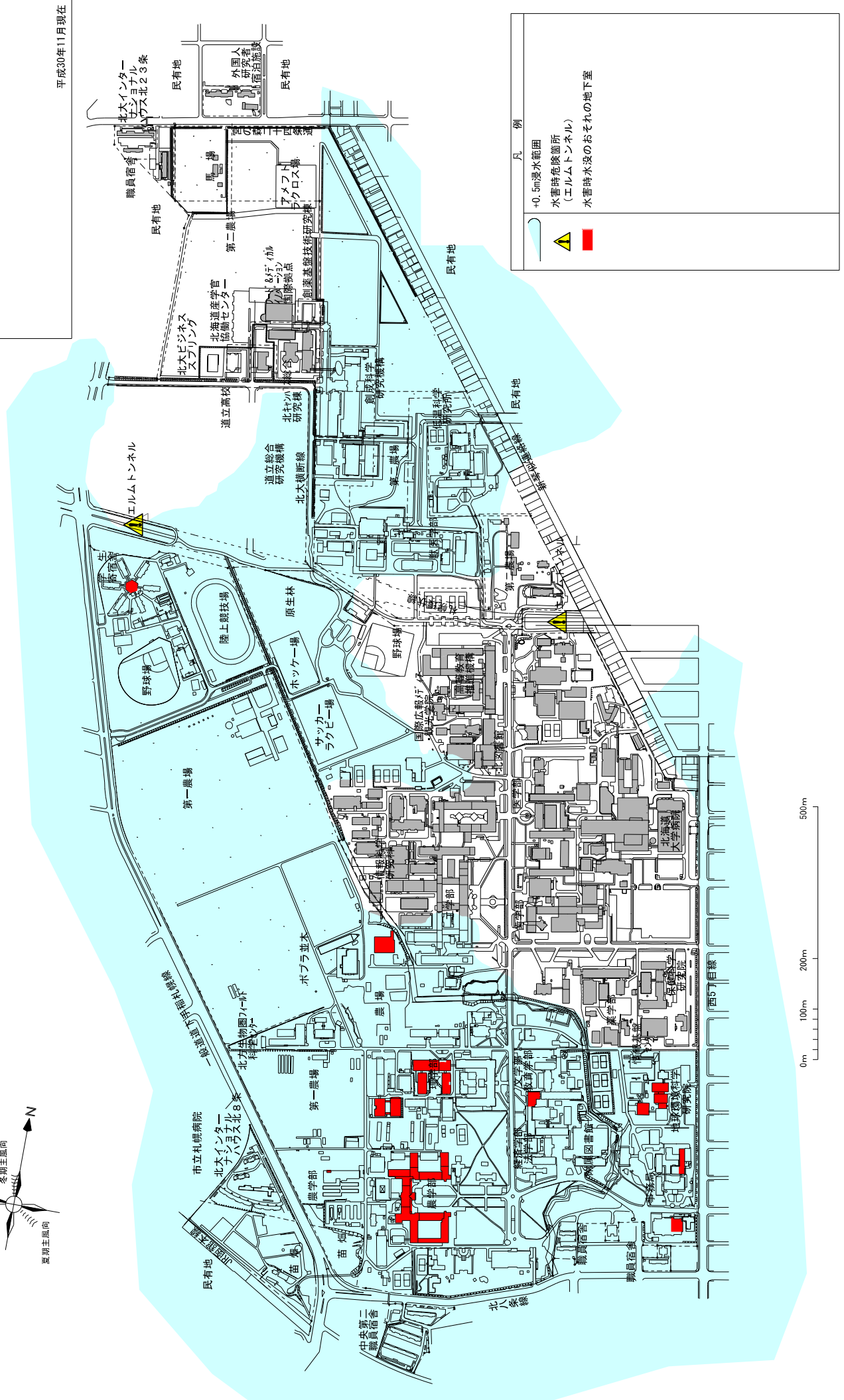


■ +0.5m浸水範囲

(豊平川流域で3日間の総雨量310mm以上の場合を想定)
札幌市危機管理対策室作成洪水ハザードマップ参照し、
おおよその範囲を示したものである
■ 上記の場合、水没するおそれの地下室を示した



平成30年11月現在

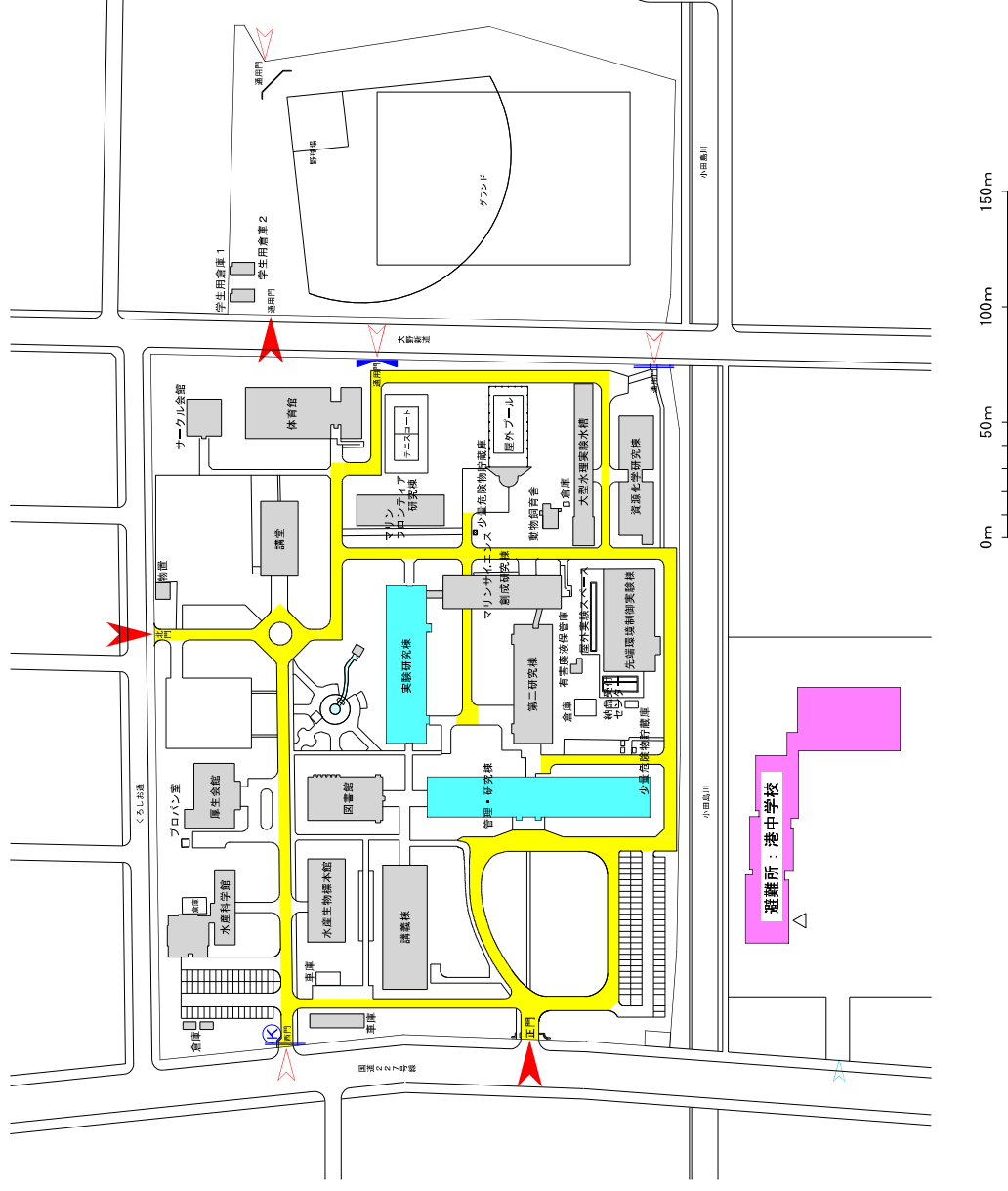
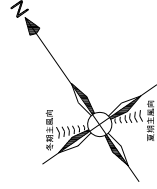










凡 例	
	+0.5m浸水範囲
	水害時危険箇所 (エルムトンネル)
	水害時水没のおそれの地下室



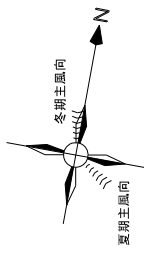
平成30年11月現在

- 函館市指定避難所を示す
- 大学構内の出入り口等を示す

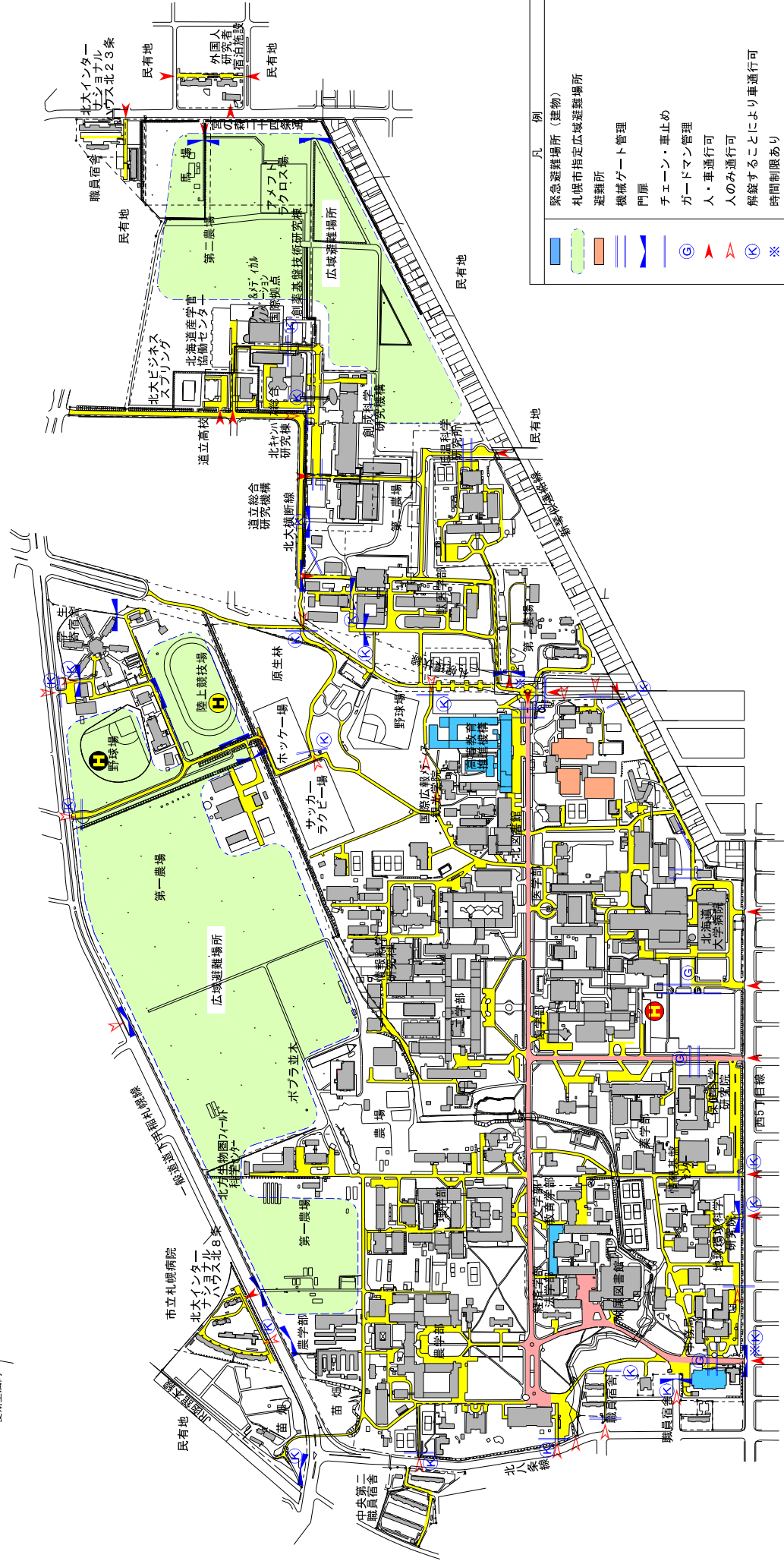


例	
函館市指定避難所	
津波避難ビル（函館市との協定H24.10）	
門扉	
チェーン・車止め	
人・車通行可	
人のみ通行可	
解錠することにより車通行可	
主な道路 幅員＜8 m	

平成30年11月現在











- 災害時の緊急避難場所を示す。
- 札幌市指定広域避難場所を示す。
- 大学構内の出入り口等を示す。



凡 例	
	緊急避難場所 (建物)
	札幌市指定広域避難場所
	避難所
	機械ゲート管理
	門原
	チェーン・車止め
	ガードマン管理
	人・車通行可
	人のみ通行可
	解錠することにより車通行可
	時間制限あり
	主な道路 幅員 ≥ 8 m
	" 幅員 < 8 m
	札幌市指定ヘリポート (緊急患者用)
	札幌市指定ヘリポート (物質等輸送用)
	ドクターヘリポート (大学病院緊急用)



- [illegible]

凡	例
	一時避難場所
	津波避難ビル（函館市との協定H24.10）
	門扉
	手エーデン・車止め
	人・車通行可
	人のみ通行可
	解禁することにより車通行可
	主な道路 幅員＜8 m

